

# 令和5年度全国学力学習状況調査

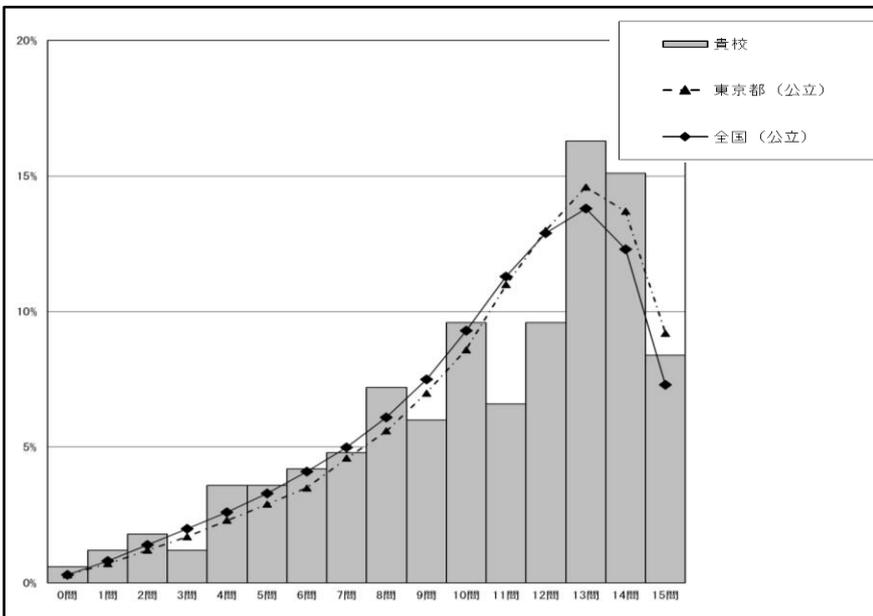
4月18日（火）に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が7月31日（月）に公表されました。この「全国学力学習状況調査」は、生徒の学力や学習状況を調査し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行っています。本校ではこの結果を基に「授業改善推進プラン」を作成し、授業改善に取り組んでいます。調査内容は次のとおりです。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

この2項目を一体的に問うことになっています。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、英語「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものでした。

本校の結果は以下のようにになりましたので、お知らせいたします。

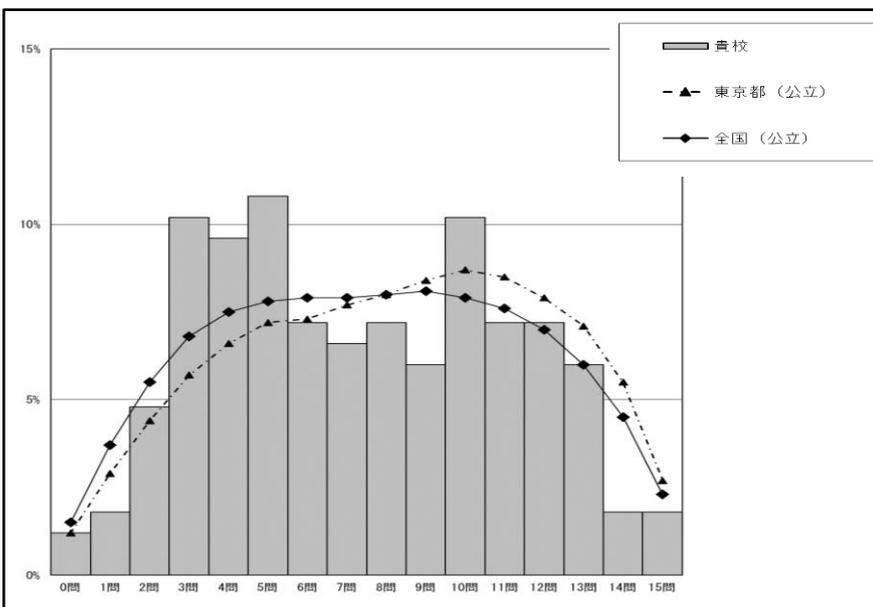
## 【国語】



	平均正答 (%)	中央値	標準偏差
本校	70	11.0	3.6
東京都	72	12.0	3.3
全国	69.8	11.0	3.4

平均正答率は東京都の値と比べると2ポイント低く、全国の値とは同程度でした。中央値は東京都の値より1ポイント低く、全国の値とは同じでした。標準偏差は東京都と全国の値よりも1～2ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、分布の形は概ね同じでした。今後は漢字や語句の意味など、知識をしっかり付けさせたいと思います。

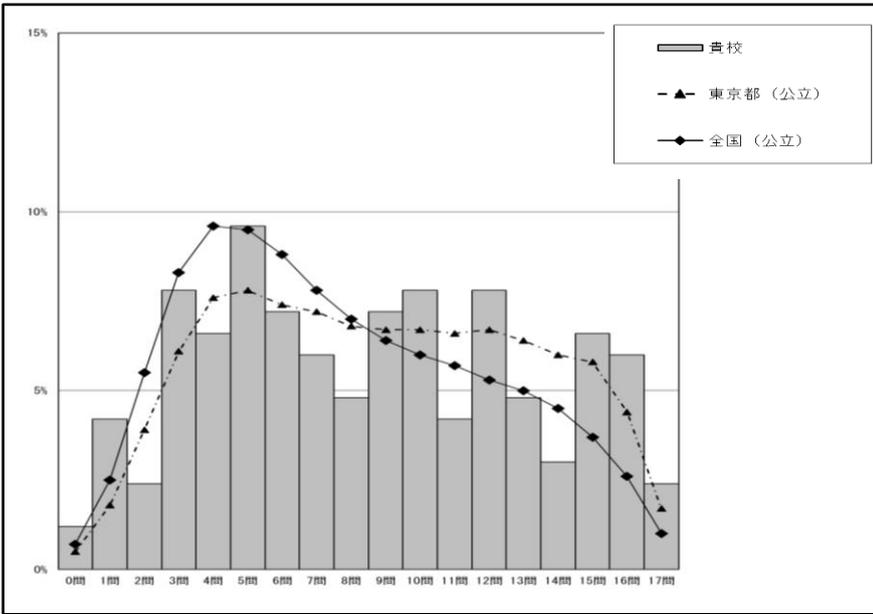
## 【数学】



	平均正答 (%)	中央値	標準偏差
本校	49	7.0	3.7
東京都	54	8.0	3.9
全国	51.0	8.0	3.9

平均正答率は東京都の値より5ポイント低く、全国の値よりも2ポイント低かったです。中央値は東京都と全国の値よりも1ポイント低かったです。標準偏差は東京都と全国の値よりも0.2ポイント低かったです。左図の正答数分布グラフより、二極化が起きていて、正答数が3問～5問の生徒数が多いです。今後は基礎計算や数学の問題文が読めるよう、読解にも力を入れていきます。

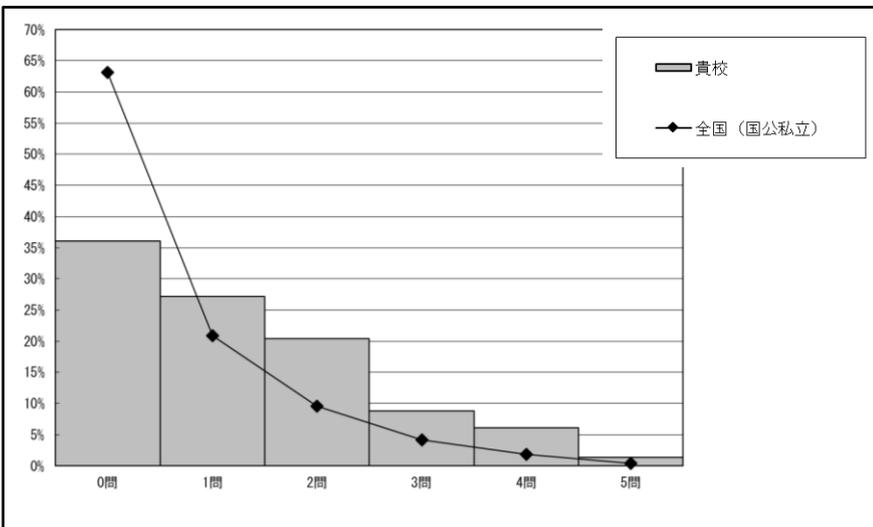
【英語】



	平均正答 (%)	中央値	標準偏差
本校	50	9.0	4.6
東京都	52	9.0	4.3
全国	45.6	7.0	4.2

平均正答率は東京都の値より2ポイント低く、全国の値より4.4ポイント高い結果となりました。中央値は東京都の値は同じで、全国の値よりは2ポイント高かったです。標準偏差は東京都、全国の値より0.3~0.4ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、分布にばらつきがありますが、東京都や全国の分布と似た傾向にあります。

【英語 (話すこと)】

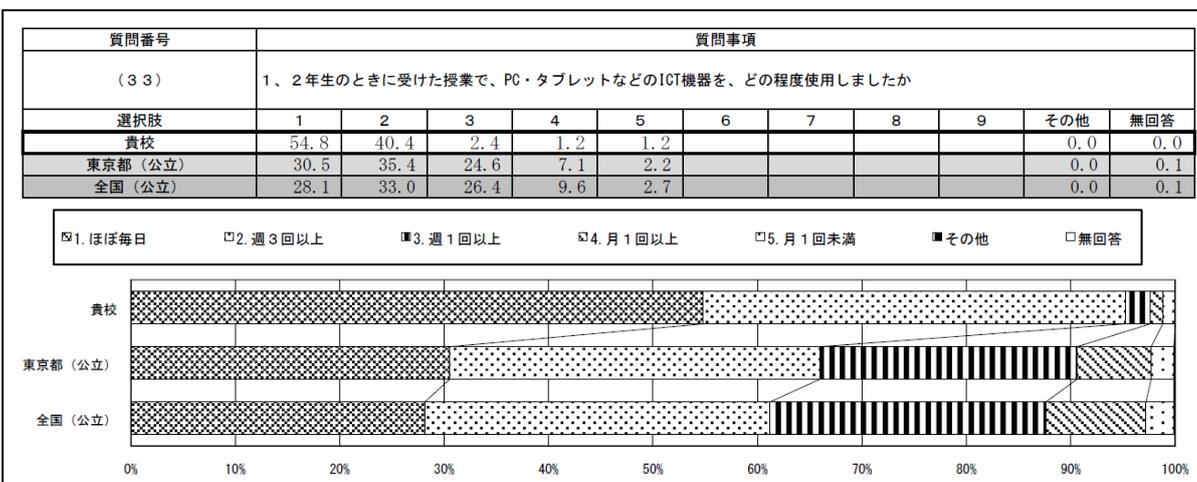


	平均正答 (%)	中央値	標準偏差
本校	25	1.0	1.3
全国	12.4	0	1.0

(全国との比較データのみ公開されています)

平均正答率は全国の値よりは12.6ポイント高い結果となりました。中央値は全国の値より1ポイント高かったです。標準偏差は全国の値より0.3ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、本校の「話すこと」の力は全国的には身に付いているように考えられます。

【生活質問紙より】



令和5年度は82項目の質問がありました。「朝ご飯は食べていますか」「就寝(起床)時間は決まっていますか」「スマホや携帯の使用時間はどれくらいですか」「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」「将来の夢や目標を持っていますか」「国語(数学・英語)は好きで

すか」など、様々な質問がありました。今回はそのうちの「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問への回答状況をお伝えします。

結果では、東京都や全国の結果と比べてかなり使用頻度が高い結果となりました。練馬区の「児童・生徒の情報活用能力等に関する調査」でも、「ほぼ毎日」と回答した人数がとても多かったです。7月の学校公開でも実施した「ICT活用授業公開」でご覧になっていたように、本校は教育活動の中でかなりタブレットPCを使用しています。

ただ一方で「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という質問においては東京都や全国よりも低い結果となっています（肯定的な回答が東京都の値と比べて5.1ポイント低かったです）。このことは、効果的な使用がまだ達成できていないということを表していると思います。今後、1人1人の個性に合った使用方法を提示できるよう、教育活動を進めていきます。

以上が本校の結果の概要となります。国語、数学、英語についてはこの資料や定期考査、授業の様子を基にした「授業改善推進プラン」を作成し、2学期以降の授業での指導に活かしていきます。「授業改善推進プラン」は作成が済み次第本校のHPに掲載いたしますので、ご覧ください。



全国学力学習状況調査のHP（調査問題等が掲載されています）→